

自閉症のある児童の自立と社会参加を促す指導実践

—買い物物体験と自尊感情との関連に着目して—

特別支援教育専攻

宇坂 徹

指導教員 佐藤 長武

第1章 序論

(1) 自立と社会参加について

特別支援教育において、自立と社会参加を見据えた指導をすることは重要視されている。自閉症のある子どもには、支援の計画を立てる際に子どもの特性に応じた目標を設定し、日常生活に馴染んだ課題を選定し、指導した内容を現実場面へ一般化させることが、自立と社会参加を見据えた上で効果的だと言える。

(2) 自尊感情について

自閉症児の自立と社会参加を促すためには、自閉症児の自尊感情を育み、自立し社会参加しようとする意欲を高めることが大切である。自尊感情とは、「Self Esteem」の訳語として定着した概念であり、自己肯定感、自己存在感、自己効力感などと同義で用いられている。自尊感情を育むためには、体験的な活動であることや、成功体験を増やすことができることが重要だと考えられる。

(3) 買い物物体験について

買い物は、体験的に取り組むことができ、成功体験が得られやすいため、自尊感情を育むにあたって有意義な活動である。本研究では、自閉症児を対象に、自立や社会参加を促進し、本人の生活

の質の向上において必要なスキルの1つである買い物学習をととした実践的指導を行い、自尊感情の変容に着目して考察を加えることにより、買物の成功体験が自尊感情にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的とする。

第2章 研究I 対象児となる自閉症のある小学校4年生の児童に対するアセスメント

(1) 問題と目的

児童に自立や社会参加を促す実践的指導にあたって、児童の実態を適切に把握することが重要である。アセスメントにおいては、聴き取り調査や行動観察、心理検査や研究者自身が自作したテスト、自作した自尊感情尺度を実施して対象児の実態を多面的に把握する。本研究では、自閉症のある児童に対して総合的な心理教育的なアセスメントを実施により児童の生活上の困難さや認知特性を明らかにし、指導を効果的に行うための指導方針を立案することを目的とする。

(2) 方法

1) 事例：A親の会に参加している知的障害を伴う自閉症のある小学校第4学年女児である。対象児は通常の小学校の特別支援学級に在籍してお

り、A親の会には週に1回参加している。

2) アセスメント方法：聴き取り調査，行動観察，K-ABC，S-M 社会生活能力検査，認知課題，自尊感情尺度を用いてアセスメントを行った。

(3) 結果及び考察

アセスメントの結果より，対象児は継次処理と同時処理の優位に大きな差はなかったため，継次処理と同時処理のバランスがとれた指導が効果的だと示唆された。S-M 社会生活能力検査の結果からは，集団参加の発達指数が最も高く，移動，作業の発達指数が低いことが示され，生活年齢(CA)が9歳5カ月に対し，社会生活年齢(SA)が6歳3カ月であり，社会生活能力は実年齢より3歳2カ月低かった。よって，対象児は，人と関わる能力が強いが，年齢に応じた社会生活能力が十分に備わっていないことが示唆された。人と関わるという強い能力を生かしながら移動能力や作業能力をさらに高めることにより，できることが増え，自尊感情が高まると考え，将来の自立と社会参加にも繋がる買い物体験を考案し，実践することとした。

第3章 研究Ⅱ 対象児に対する買い物学習の実践

(1) 問題と目的

自閉症のある児童の自立と社会参加を促すにあたって，買い物スキルを身につけることは重要なことである。買い物スキルを身につけるための指導

については，多くの研究成果が報告されている。本研究では，買い物学習を実践することにより，対象児の自立と社会参加を支援する。その際，自尊感情の変容に着目し，買い物の成功体験が自尊感情の変容に影響を与えるかどうかを検討する。

(2) 方法

1) 事例：研究Ⅰでアセスメントを行った女児を対象にして，実践的な指導を行うことにした。

2) 指導内容：マッチング課題，自動販売機課題，お店課題を実施した。

(3) 結果及び考察

自動販売機による買い物体験ができた後，うれしそうに保護者に話したことや，コンビニでの買い物体験で，友だちの名前を言いながらお菓子を選び，うれしそうにおしゃべりをしながら帰ったエピソードから，本実践での成功体験が対象児にとって大きな自信になったことが考えられる。また，指導前後の自尊感情の比較から，「できないことが多い」と「友だちができることは自分にもできる」の得点が上昇したことから，本実践により，対象児の自尊感情が育まれたといえる。本実践では対象児が未経験であった買い物体験を成功させることにより，自尊感情の一部を育むことにつながった。そのため，対象児のニーズや特性を考慮して指導内容を考え，継続させることにより，自立と社会参加に向けての確かな力が形成されるものと考えている。